

環境に配慮した取り組み

地域の小学生と一緒にどんぐり拾い

～地域性苗木の育成を目指して～

NEXCO中日本は**経営施策である「地域連携や環境・持続可能社会への貢献の推進」**に取り組んでいます。

そのため、圏央道が通過する地域の**小学生などの協力を得て**、地域性苗木用 1の**どんぐり拾い**を行っています。

拾ったどんぐりから、地域性苗木を当社で育成して、高速道路緑化で使用しています。地域性苗木を植付ける時期・場所によっては、地域の小学生などに植樹に参加して頂いています。

この活動は平成7年度から開始し、どんぐり拾いは11回開催して延べ約1,100人が参加、植樹は12回開催して延べ約2万本を植樹しました。

今年度は、国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所、相模原市、当社の主催で、**相模原市内でどんぐり拾いを2回実施**いたします。

相模原市立湘南小学校

(所在地) 相模原市城山町小倉1573

(開催日) 平成21年10月19日(月) 10:40～12:10

(参加者) 1・2年生 9名が参加

相模原市立広陵小学校

(所在地) 相模原市城山町若葉台4-3-1

(開催日) 平成21年10月30日(金) 8:50～10:25

(雨天の場合は体育館でどんぐり工作)

(参加者) 1・2年生 約80名を予定



【どんぐり拾いの状況(10月19日)】



【地域性苗木の植付け状況】

当社は今後も引き続き、地域社会との連携・支援、自然環境に配慮した道路(エコロード)づくりを進めます。

1 高速道路が通過する地域に自生する郷土種樹木から種子等を採取して、緑化技術センター等で育成した苗木のこ